



高知県立盲学校

校長室だより



No.1
令和2年5月29日

～「笑顔」「夢」「感動」あふれる学校を目指して～

新型コロナウイルス感染症が、世界中で猛威を振るう中スタートした令和2年度、3月の臨時休業から、4月7日に始業式、入学式を行うことができたのも束の間、13日からの臨時休業が発表され、休業延長が繰り返されました。長期間の臨時休業中、保護者の皆様にはご理解、ご協力御をいただき本当にありがとうございました。高知県では1か月近く感染者の報告がなく落ち着きが戻っていますが、第2波、第3波が来ると予想されており、安心ができない状況です。臨時休業中の学習保障をしっかりと行っていくこと、また、新型コロナウイルス感染症対策として「学校の新しい生活様式」を具体的にどのように定着させていくのかがこれからの課題です。

今週月曜日からやっと学校が再開となり、学校に幼児児童生徒の元気な声や笑顔が戻ってきました。保護者の皆様にはご挨拶が大変遅くなりましたが、校長3年目となりました八木です。今年度も「笑顔」「夢」「感動」あふれる学校を目指し、取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。



高知県立盲学校は昨年度より1名減り、22名の幼児児童生徒でスタートしました。中学部1名、高等部普通科5名、専攻科理療科1名の入学があり、その内3名が新しく盲学校の仲間入りをしました。「視覚障害教育の専門性を発揮し、生きる力を育む確かな教育を推進する学校」を目指し、昨年度に引き続き「100年目のチーム高知盲の新たな一歩！ ～高めよう専門性、広げよう地域・社会に～」を合言葉に、今年度はキーワードを「いい授業しよう！」とし、取組を進めていきます。

まずは、新型コロナウイルス感染症対策に丁寧に取り組み、幼児児童生徒のみなさんが安心して登校し、学習できるよう努めていきます。どうぞ、1年間よろしく願いいたします。



本校の目指す幼児児童生徒像

本校では学校教育目標として、「夢に向かって『自らまなび』『社会とつながり』『たくましくあゆむ』生きる力を育てる教育」に取り組んでまいります。

目指すのは、【知】「主体的、意欲的に、学び続けることができる」【徳】「周りの仲間とのつながりを大切に、社会参加できる」【体】「自ら障害に向き合い、自己実現に向けて積極的に行動できる」幼児児童生徒です。目指す幼児児童生徒の育成に向け、各学部、寄宿舎において、それぞれ目標を設定し、幼児児童生徒一人一人の目標達成を目指し、日々の授業や行事等、学校生活全体を通して、「生きる力」を育てていきます。学校の教育活動に対しまして、ご理解、ご協力をよろしく願いいたします。



学びの記録について

本校では、学校での教育活動について保護者の皆様に、わかりやすく説明し、ご理解いただくために、今年度から「学びの記録」として、各自にファイルを準備することとしました。この事については、昨年度末のPTA役員会でも説明をさせていただきましたが、ファイルの中には、個別の教育支援計画、個別の指導計画、通知表などを挟み、ご家庭で保管していただき、日々の学習状況等と照らし合わせながら、懇談でも活用していきます。

また、学習指導要領の改訂も踏まえ、個別の教育支援計画、個別の指導計画等の様式につきましても、具体的に一人一人の教育的ニーズ等に応じた指導目標、内容、方法、学習計画などをお示しできるよう変更しました。

詳しくは、懇談等において担任から説明をさせていただきますのでよろしく願いいたします。

